

株式会社ナックイメージテクノロジー

nac カスタマーサポート部

2020年8月3日 SETEC63-003

ARRI ライトの電源ケーブルの発熱や電気接点の炭化に関する 注意点

日頃より弊社取り扱いの照明機器をご使用くださりありがとうございます。

灯体の電源ケーブル類（灯体から出ているテールケーブル、延長ケーブル、バラストの電源コネクタ等）においてコネクタが熱を持つものや、電気接点部分に炭化（焼損）が見られるものが散見されます。そのまま使用し続けると機材に大きな電氣的なダメージを与えるほか、火傷や発火の原因ともなり得ます。

この不具合は接点を通じて問題のある製品から正常な製品へ症状が伝染していく性質があります。症状の蔓延を防ぐため下記のような点検を日常的に実施し、もし発見された場合はただちに修理を実施してください。

1. 目視点検

コネクタ接触部が黒く変色していないか

コネクタ外側の変形、溶解が無い

ケーブル被覆が変質していないか

周囲の焦げ付きは無い

ピン、コネクタ、ブレード等通電部分の変形は無い

不良ピン(左 3 本)と良ピン(右)



2. 触点検

発熱は無い

※通電時にコネクタ部分を 10 秒素手で握りしめられない場合は発熱ありと認めます

3. 臭気点検

コネクタ部分に強烈なゴム臭が発生していない

4. 音点検

点灯中、明らかな異音(はっきりとした唸りなど)がない

■コネクタピン焼損現象伝染の原因について

コネクタピンなどの通電接触部品は経年や使用環境により劣化していきます。すると、規定された電流量を超過していない場合でも激しく発熱したり、出火を引き起こすこともあります。劣化していない正常な通電部分でも、接触する反対側のパーツが劣化していると電気の通り道に対する抵抗値が高くなり、異常な発熱が起こります。結果、正常な部品に対し局所的な過負荷を発生させ、最終的には焼損・炭化させてしまうことに繋がります。知らず知らずのうちに不具合が伝染していくことを防ぐため、日常的な点検と、発見時の早急な対処が重要です。

■新品保証期間中であっても有償修理となります

たとえ購入されたばかりの製品であっても、上記要因にて不具合が伝染してしまった場合は修理の際メーカーの定める新品保証が適応されません。新品製品に既存の製品（延長ケーブルなど）を接続する前には必ず点検を実施いただくようお願い致します。

■コネクタピン焼損の判りづらい例

ピンの根本付近が変色しています。これも劣化症状です。



一見問題なさそうに見えても、分解すると明らかに黒化していることが判ります。



■上記に関するお問い合わせ先

株式会社ナックイメージテクノロジー
カスタマーサポート部 照明技術サービスG
神奈川県横浜市都筑区勝田町 1247
TEL 045-941-3711